

安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

●表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損傷を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●表示の例

	△記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。		一般的な注意・警告を通告します。
	○記号は禁止の行為であることを告げるものです。	 	一般的な禁止の通告をします。 分解により傷害が発生する可能性がある場合の禁止の通告をします。
	❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。		
	この表示では、本機を操作するうえでの補足説明を示します。		

警告

分解・改造をしない

分解や改造は、事故・火災・感電の原因になります。



小物類は幼児の手の届かないところに保管する

小物類 ネジなど は幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。



コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめる

コード類は取り付け説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないようまとめてください。ステアリングやシフトレバー・ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



運転の邪魔になるところには取り付けない

前方の視界を妨げる場所や運転操作を妨げる場所（ステアリング・シフトレバー等）など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



穴を開けるときは、パイプ・配線類を傷つけない

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉や接触しないようにしてください。火災の原因となります。



異常な状態になったら、直ちに使うのをやめる

音が出ない・異物が入った・煙が出る・変な臭いがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ず お買い上げの販売店 にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。




注意

取り付け・配線は、専門家に依頼する

本機 の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ず お買い上げの販売店 に依頼してください。



付属の部品を指定通りに使い、しっかりと取り付ける

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器 内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



水のかかるところ、湿気の多いところには取り付けない

水のかかるところ、湿気や埃の多いところへの取り付けは避けてください。本機 に水や湿気・埃が混入しますと発煙や発火の原因となる場合があります。



正しい接続をする

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



コードを挟まないように引き回す

シートレールなどの可動部に配線を挟み込む、突起部に当たるなどしてコードを傷めないようにしてください。断線やショートにより、事故や感電・火災の原因となることがあります。



車以外には使わない

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電やケガの原因となることがあります。



■使用上のご注意

- いつまでもよい状態でご使用いただくために、お守りいただきたいこと。
- 車内の換気にご注意
夏期は車内の温度が大変高くなることがありますので、このようなときは窓を開け、少し走行して、車内の温度を下げてからお使いください。
- 洗車されるときにもご注意
スピーカー・システム内に水が入ると思わぬ故障の原因になりますので、洗車時には十分ご注意ください。

■保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 万一故障した場合の無料修理期間は、お買い上げ日より1年間、または累計走行距離が2万kmを越えない範囲です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときはまずチェックを➡この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。簡単な確認で直ることがあります。
- それでも具合の悪いときはサービスへ➡保証書記載（裏面）に従い修理させていただきますので販売店またはお近くの当社営業所、指定サービスショップに保証書を添えてお申し出ください。
- 保証期間中の修理は➡保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

■仕様

- スピーカー仕様.....ソフト・ドーム・ツイーター
- インピーダンス.....6Ω
- 瞬間最大入力.....120W
- 定格入力.....40W
- 出力音圧レベル.....88dB/W(1m)
- 周波数特性.....3kHz ~ 35kHz
- 重量(システム単体重量).....50g

(上記の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。)

特長

- このツイーターは、アルパインが独自に開発したダイヤフラムを採用し、小形ツイーターとは思えないダイナミックな音場を再現します。
- 世界で最も小型なソフトドームツイーター、取り付け場所を選ばず手軽にインストールが可能となりました。
- 世界で最もエネルギー積の高い高保磁力のネオジウムマグネットを採用し、ハイスピード、高いトランジェント性を追求しました。

はじめに

次のことに注意しながら取り付け作業を進めてください。

- 作業には時間がかかります。明るいうちに終了できるように余裕を持って作業してください。
- 希望する取り付け位置にたいして、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 不明な点はお買い上げの店、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

1. 準備する

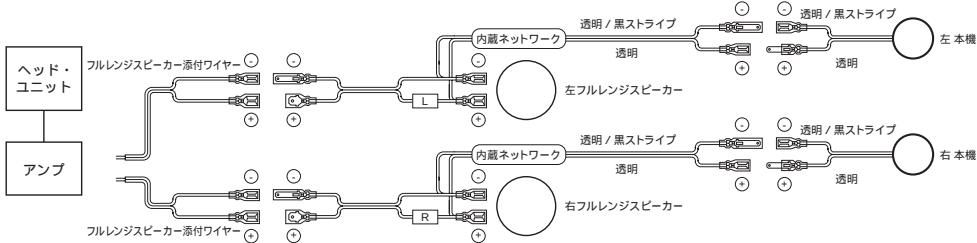
1 構成部品を確認する。

No.	部 品 名	用 途	備 考	個数
	スピーカー本体	ドア及び、オンダッシュマウント	_____	2
	マウンティング・ブラケット	スピーカー本体固定用	_____	2
	スラント・スペーサー	向きを変えたい時に使用	スラント角度25度	2
	タッピングスクリュー	ブラケット又はスラント・スペーサーを車体に固定	Φ4×20mm	4
	スピードナット	の固定用	F型（Φ4用）	4
	マシンスクリュー	ブラケットをスラント・スペーサーに固定	M4×8mm	2
	アングルスペーサー用両面テープ	防振クッションとして使用	ネオブレンスポンジ	2
	添付ワイヤー(ネットワーク内蔵)	接続時に必ず使用	1.2m	1set
	テンプレート ㊦	サーフィス・マウント時のマーキング用	化粧箱に印刷	1
	テンプレート ㊧	アングル・マウント時のマーキング用	化粧箱に印刷	1

2 車を安全で平坦な場所に停める。
パーキング・ブレーキをかけ、エンジン・キーを抜く。

2. 接続する

⚠️注意 正しい接続をする
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



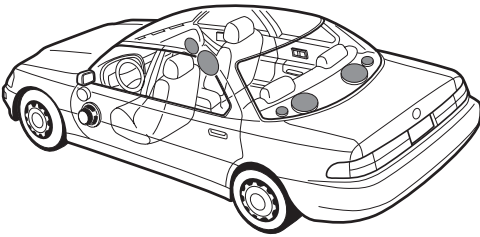
- Memo**
- 必ず添付ワイヤー(ネットワーク内蔵)を接続してください。
 - フルレンジスピーカーとアンプ間は、フルレンジスピーカー添付のワイヤーをそのまま御使用下さい。もし、コネクターが合わない場合、お買い上げ店にご相談ください。
 - 2way以上のスピーカーに、チューンナップ・ツイーターとして追加される方は、御使用のアンプの適合インピーダンスが2Ω可能かどうかを、御確認ください。適合インピーダンスが2Ω不可能なアンプですと、アンプ及びスピーカーを壊す恐れがありますので、お買い上げ店に御相談ください。

3. 取り付ける前に

- ドア取り付けの場合、ドアおよび窓の開閉に支障のない場所を選んでください。
- リア・トレイ取り付けの場合、ガソリン・タンクおよびホースを破損することのないように確認してください。
- マルチ・アンプで駆動される場合も、必ず添付ワイヤー(ネットワーク内蔵)を保護用として接続してください。

4. 取り付ける

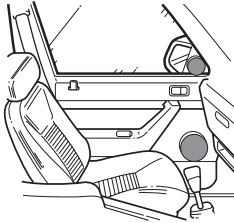
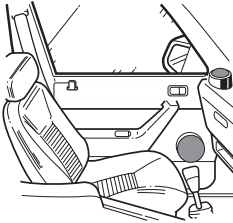
■ 取付場所



⚠️注意

取り付けの際、ドリル、カッター等を使用しますので、けがをしないよう十分気をつけてください。

■ 取付例



● ボード取付例

サーフィス・マウント(テンプレート㊦使用)	アングル・マウント(テンプレート㊦使用)
コード孔 スピードナット は、コード孔にかからない様に向きを調整してください。	コード孔 スピードナット は、コード孔にかからない様に向きを調整してください。

● アングル・マウントの方向性（下記の3方向が可能）

オンダッシュの場合	左ドアの場合	右ドアの場合
コード孔 合わせる コード孔 ロゴ位置	コード孔 合わせる コード孔 ロゴ位置	コード孔 合わせる コード孔 ロゴ位置

● ワイヤーをボード前面に引き出す場合

サーフィス・マウント	アングル・マウント
①	①

矢印部分をニッパなどで切り取って下さい。

5. 確認する

1 不自然な当たりがないことを確認する。

2 コード類を固定する。
突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意してください。

3 エンジン・キー / カーオーディオ電源をONにして、本機から音が出ることを確認する。

4 ホーン / ストップ・ランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。